

地域と市が協働で行ってきたこと

自治会、公民分館、校区福祉委員会、防犯支部などその地域で活動する様々な団体が集まり、地域課題などを多様な視点から話し合い、各団体の強みを生かしながら解決に向けて市と協働して取り組める場が「地域自治組織」です。

新千里東町地域自治協議会では、「歩行者と車の交通安全」、「歩道にあふれる雨水」といったまちの課題について、市の担当課と現地確認や協議を繰り返し、協働で課題の解決に取り組んでいます。毎年行う長谷池の清掃活動も市と協働で実施している事業の一つです。

こうした活動を通じて、協議会に対する地域住民の関心を高め、地域コミュニティの更なる活性化につなげています。



長谷池の清掃

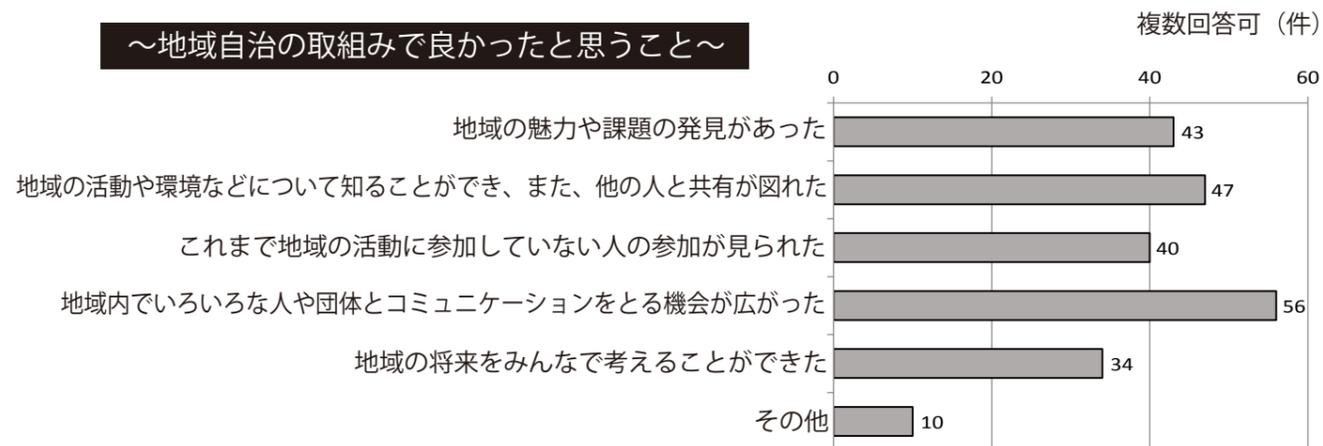


交通安全の現地確認

地域自治の取り組みに関するアンケート調査結果(抜粋)

アンケート調査(平成27年1月実施)で「地域自治の取り組みでよかったと思うこと」について伺ったところ、「地域内でいろいろな人や団体とコミュニケーションをとる機会が広がった」や「地域の活動や環境などについて知ることができ、また、他の人と共有が図れた」などの回答が得られました。アンケート調査結果の詳細は、市のホームページをご覧ください。(「豊中市地域自治」で検索。)

～地域自治の取り組みで良かったと思うこと～



対象：地域自治組織及び組織化に向けた検討会の運営に中心的に関わる方(93名)

豊中市市民協働部コミュニティ政策課

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1(第一庁舎5階)

電話：(06) 6858-2727 FAX：(06) 6846-6003

電子メール：community@city.toyonaka.osaka.jp

ホームページ：http://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/npo/index.html



豊中市地域自治

ちいきのわ

11

平成27年
(2015年)
5月

発行 豊中市市民協働部コミュニティ政策課

地域自治について..... P 1
 各校区で携わる方と特色ある取り組み..... P 1/2/3
 地域と市が協働で行ってきたこと..... P 4
 地域自治の取り組みに関するアンケート調査結果... P 4

「豊中スタイルの地域自治」の取り組みが広がっています。地域自治の取り組みを進める地域では、地域の皆さんが主体となって、防災や防犯、子育て、新しい住民との関係づくりなど、地域の課題解決に向けた取り組みが進められています。また、地域の課題解決にむけ、地域と市が協働した取り組みも進みつつあります。今回の「ちいきのわ」では、そうした地域自治の取り組みを進める地域の皆さまの“声”をお届けします。



小曽根小学校区地域自治協議会 防災の取り組み / 上田千恵子 副会長 設立：平成26年12月17日

平成27年3月29日、5回目となる防災訓練では、昨年に引き続き「避難所開設訓練」を実施しました。協議会の部会である小曽根小学校区災害対策委員会のメンバーが毎回50名近く集まり、当日までに4回のワークショップを重ねて訓練内容を話し合いました。ワークショップを重ねていくうちに変化したことは、人とのつながりがさらに深まったこと。「何かしないと!」、「こうしたらどう?」といった議論が毎回あり、みんなで協力して、みんなで考えた防災訓練となりました。

次回の防災訓練では、要支援者の方も参加できるような環境作りに取り組みたいと考えています。現在、リアカーや車いすの数を確認中で、今後は、要支援者の方の人数を把握していき、地域の誰もが気軽に参加できる仕組みづくりを進めていきたいです。



ワークショップ



第5回防災訓練(避難所開設訓練)

豊中市には41小学校区があり、
 現在5校区で組織設立、3校区で
 検討の取り組みが進められています。

新千里東町地域自治協議会
新築マンションとの関係づくり / 小川 浩一 会長
 設立:平成 24 年 4 月 22 日



千里中央公園展望台から望む新千里東町

町ができて50年。ここ数年マンションの建て替えが進み、町は見違えるように生まれ変わりつつある一方で、高齢化や自治会加入率の低下など、町が抱える悩みも顕在化してきました。こうした中、新築マンション居住の方々と出会い、当協議会の取組み、設立趣旨などを説明することで、協議会に高い関心を持たれ、関係づくりが進んでいます。

やる気にあふれた心強い仲間として、今後も存分に力を発揮いただけるものと信じて疑いません。告知・周知と丁寧な説明、活動内容などを繰り返し丁寧に発信し続ける事が何より重要だと考えています。

新千里北町地域自治協議会
子育てサークル部会 / 浅野 博光 副会長
 設立:平成 26 年 4 月 13 日

子育て団体活動の様子



子育てサークル部会では、新千里北町の子育てビジョンに掲げた「のびのびと子育てができ、みんなが元気にあいさつするまち」を目指して活動しています。

ニュータウン開発から半世紀がたち、かつては子どもであふれていた新千里北町が、市内でも有数の少子高齢化が進んだまちになりました。校区内の子育て関連団体も以前の活動規模のままのため、担い手不足、固定化、高齢化に悩み負担が増えています。そこでまず、部会で各子育て団体の状況を調査し、現状の把握から始めました。そして、意見交流会を行い、各団体のつながりを深めていきました。

今後は、各団体の活動整理を行い、負担を軽減し効率をあげていきます。「子ども達も楽しく、そして携わっている大人も楽しい」そういった地域での子育て活動の面白さを感じてもらえるようにしていきたいと思っています。



野田校区地域自治検討会
アンケート / 中村 亜美 会計
 設立:平成 26 年 10 月 4 日



アンケート作成時の様子



地域自治検討会の運営には、私たちPTA世代も積極的に参加しています。

4月に実施した「野田校区地域自治アンケート」は、4人のPTAメンバーが中心になって作成しました。毎回和やかな雰囲気の中、楽しくお茶を飲んだりしながら、みんなで設問内容を検討しました。「地域の課題や取組み、誇れるところが見えてくるのでは？」と考え、地域に対する愛着・問題点・良いところ等を盛り込んだ内容にし、答えやすいアンケートを作ることを心がけました。また、小・中学校用のアンケートも同時に作成し、子どもたちから意見を聞くことにも力を入れました。

次回はこのアンケート結果をもとに、「まち歩き」の実施を予定しています。このイベントにもPTA世代として積極的に関わっていこうと思っています。

刀根山校区地域自治協議会
広報誌の発行 / 植松 英子 幹事
 設立:平成 27 年 4 月 4 日

“みんなで築こう「ふるさとづくり まちづくり」心豊かなまち！！刀根山”を将来ビジョンに掲げ、地域自治組織を設立しました。

検討会段階では、広報誌「ふるさと」を作成・配布しました。レイアウトは、地域の元デザイナーさんにもボランティアで協力をいただき、見やすく洗練された仕上がりになりました。昨年実施した住民アンケートでは、878件の回答が寄せられ、刀根山の情報を発信して欲しいという要望が集まりました。

今後は、刀根山校区のことがよくわかる、身近で親しみやすい誌面づくりを心がけていきたいと思っています。



広報誌「ふるさと」



てしま連絡協議会
検討会を通して変わったこと / 中川 博史 副会長
 地域自治組織の検討開始:平成 26 年 6 月 24 日



地域をもっと「住みよい、安心・安全なまちに」と、地域自治の検討を始めました。

検討会では、自治会・町会、防災・防犯に関する課題等を話し合う「意見交流会」、地域の魅力発見や危険箇所等を確認するための「まち歩き」を実施しました。広く声かけをすることで、自治会長や町会長、初めての方々も参加いただき、「ワイワイがやがや」と積極的な発言と貴重な意見や提案をいただきました。

また、3月には住民アンケートを実施しました。これからは、「住み続けたい豊島」をめざすため、地域ビジョンの作成を計画しています。



まち歩きの様子

南桜塚校区地域連絡協議会
防犯部会の取組み / 出羽 昭彦 副会長
 設立:平成 27 年 4 月 19 日

防犯部会では、定期的に会議を重ね、校区内の安心・安全に関する取組みについて話し合っています。

昨年7月19日には、校区内の公園を中心に、通学路を經由しながら、約1時間20分かけて「夜の防犯まち歩き」を実施しました。実際に歩いてみると、暗い路地が多かったり外灯の設置箇所が少ないといった、夜にしか気づかない課題をたくさん発見することができました。また、スクールゾーンの標識が傷んでいる所が多くあることにも気づきました。

今後は、防犯カメラの研究を大きなテーマとして活動を進めていきます。



夜の防犯まち歩きの様子



ゆめあるまち高川会
これから検討をはじめるとあって / 北原 武央 会長
 地域自治組織の検討開始:平成 27 年 5 月 予定

夢あるまちづくりという目標のもと地域の各種団体が集まり、相互の連絡や意見交換を行える場として平成17年から「ゆめあるまち高川会」を運営しています。

安全で安心して暮らせる地域は多くの方の協力がが必要です。「人がつながる」ということは大変なことだと痛感していますが、「地域の和」づくりをしながら夢の実現に進んでいきたいと考えています。



高川校区地域自治説明会の様子